

意見書

教 科
社会

種 目
歴史的分野

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・「探究課題」「探究ステップ」「スキルアップ」「章のまとめ学習」のコーナーを活用することで、「知・技」「思・判・表」「学びに向かう力、人間性等」の力の育成が非常に図りやすい。 ・SDG s を取り上げ、現代的な諸課題の認識をもたせることができる。
	(2)	・国語との関連を明記された部分があり、教科横断的な学習が意識されている。 ・「もっと知りたい」のコーナーでは、地理と公民とのつながりを示しており、他種目との関連という視点でも考えることができる。 ・各章の導入で、小学校で学習した用語紹介があり、これまでの学習とのつながりをつくることができる。
	(3)	・資料が多岐にわたり記載されており、生徒が「多面的・多角的」な視点で学びを進めることができる。 ・「戦乱の世を終わらせたのは何だろう。」など「みんなでチャレンジ」のコーナーで、生徒同士の対話を促し「対話的な深い学び」に結びつく、有効なコーナーとなっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・「チェック」「トライ」という発問が用意され、それらを個別で追究したり協同で学習したりするのに非常に有効である。 ・どの時代の学習であるか把握するための年表がついている。 ・「もっと知りたい」のコーナーでは、学習内容に対して違う視点から知識を深めたり、思考を広げたりすることができる。
	(2)	・章のまとめ学習では、「知・技」「思・判・表」と明記されていたり、「見方・考え方」が明記されていたりと、どの学習でどのような力を評価すべきかがわかりやすくなっており、生徒の思考や理解を評価し、授業改善を非常に図りやすい。
	(3)	・「文献資料のチェック」を二次元コードでアクセスすることができるようになっている。単位時間ごとに二次元コードが示され、ICT を十分に活用できる。
3 印刷・製本等	(1)	・教科書の厚み、重量ともに適切である。 ・総ページ 2 8 7 総重量 5 6 5 g
	(2)	・UD フォントや色覚特性の配慮がなされている。
	(3)	・冒頭では、歴史の学習の仕方や身近な地域の調査方法について丁寧にまとめられている。 ・巻末では、「旧国名地図」や「歴史的事象と関連する植物」が記載されており、学習内容を深めたり整理したりすることができる。 ・国宝、重要文化財、世界遺産マークが明記されており、資料価値の重みを認識させることができる。

意見書

教 科
社会

種 目
歴史的分野

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・章のまとめ学習では、「知・技」「思・判・表」と明記されていたり、見方考え方が明記されていたりと、どんな学習でどのような力が身につくのかわかりやすくなっている。 ・「歴史の技」では動画コンテンツがついており、資料の読み取り方を習得できる。
	(2)	・小学校で学習した単語に「小学校マーク」が示されており、小学校とのつながりを意識できる。 ・歴史にアプローチでは、小学校との学習の連携を図ることができる。
	(3)	・タイトルに工夫があり、生徒の学習意欲を効果的に引き出すことができる。 ・「確認」「表現」では、多角的・多面的な視点を必要とする発問があり、対話の必要性を引き出している。 ・様々なタイプの資料から、主体的・対話的な学習を促す授業を構成しやすい。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・章末の活動では、年表を用いて時代の流れを掴むことで、章ごとの問いに答えることで自らの学びを振り返ることができる。
	(2)	・章のまとめ学習では、「知・技」「思・判・表」と明記されていたり、「見方・考え方」が明記されていたりと、どの学習でどのような力を評価すべきかがわかりやすくなっている。 ・時代の転換点を問うているところから、時代の理解の把握につなげやすい。
	(3)	・二次元コードを読み取り、関連する情報を取得できるようになっている。
3 印刷・製本等	(1)	・適切な教科書の厚み、重量である。 ・総ページ 2 9 8 総重量 6 1 7 g
	(2)	・文字間隔、文字の大きさともに見やすいものになっている。 ・必要な部分にはふりがなもふられておりわかりやすい。
	(3)	・国宝、重要文化財、世界遺産マークが明記されており、資料価値の重みを認識させることができる。 ・巻末では、「世界地図の歴史」が時代ごとに比較されており、当時の人々がどのように世界について考えていたのかというヒントとなり得る。

意見書

教 科
社会

種 目
歴史的分野

発 行 者
帝国書院

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・「技能を磨く」により、多面的・多角的に分析するスキルを身に付けられたり、「タイムトラベル」では時代を捉えるための「見方・考え方」を投げかけたりして、資質・能力を養うことができる。 ・「未来に向けて」のコーナーより、持続可能な社会への認識を図ることができる。
	(2)	・人物コラムや「歴史プラス」などで、小学校や他分野との関連をマークで示し、巻頭でも関連性を図式化して示すことで、中学校での歴史学習に生かすことができる。
	(3)	・章の問い、節の問い、振り返りがあることでステップを踏みながら課題解決学習に取り組むことができる。 ・「アクティブ歴史」や振り返りでは、仲間と対話的な学習を出来るようにし、より深く学ぶことができる。
2 第4次岐阜県教育 振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・「歴史を探ろう」では、当時の社会を地域の視点から捉えることができる。 ・「世界とのつながりを考えよう」を通して、当時の世界の動きや日本の歴史とのつながりを考えることができる。
	(2)	・単位時間ごとに「確認しよう」「説明しよう」に取り組ませることで、自らの学びを確認することができる。 ・「学習を振り返ろう」で、3つの観点に基づいた振り返り活動にすることができる。
	(3)	・二次元コードより出来事の考察や学習内容の振り返りをするワークシートをダウンロードしたり、「タイムトラベル」のコンテンツに取り組んだりすることができる。
3 印刷・製本等	(1)	・ページ数や重量がやや多い。 ・総ページ数314 総重量638 g
	(2)	・UDフォントが使用され、色覚特性に配慮した色を使用している。 図版に模様や線、記号などを使用することで、色以外からも情報を読み取ることができる。
	(3)	・最初に目次があり、巻末に人名や事項の索引を掲載している。 ・国宝、世界遺産マークが明記されており、資料価値の重みを認識させることができる。

意見書

教 科
社会

種 目
歴史的分野

発 行 者
山川出版社

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・各ページに「ステップアップ」のコーナーが設けられており、社会科の「見方・考え方」を活用して学習を深めることができるようになっている。 ・非常に情報量が多く、知識・技能の向上に役立つ。
	(2)	・どんな力が身に付いたのかを示したページや、学びを振り返るページが巻末に位置づけられており、次の単元に移行しやすい。
	(3)	・特に章のまとめでは、「多面的・多角的」な視点で考察する問いが設定されている。他者と対話をする中で考えを広げられるきっかけとなり得る活動が設定されている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・用語解説だけでなく、ステップアップや歴史コラムなど、学習意欲や特性により幅広く対応することができるつくりとなっている。
	(2)	・章のまとめでは、学習を振り返るページが設定されている。獲得した知識や技能を活用する機会が設けられている。
	(3)	・各章の導入の活動で活用できる、二次元コードが用意されている。
3 印刷・製本等	(1)	・淡い色がメインで使用されており、落ち着いた印象をもつ。 ・分厚さは、程よく、カバンに入るほどの大きさとなっている。 ・総ページ 2 8 8 総重量 6 0 2 g
	(2)	・文字間隔は狭めで、文字がやや小さい。 ・非常に情報量が多く、歴史の学習が好きな生徒や学ぶ意欲の高い生徒には、適切な教科書となっている。
	(3)	・巻末に世界地図が載っている。位置的な視点で見ると、この 1 冊で完結する点が便利である。

意見書

教 科
社会

種 目
歴史的分野

発 行 者
日本文教出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・見方・考え方のポイントが全てのページに位置づいている。また、課題とのつながりも明確になっている。また、「スキルアップ」で資料の読み取り方を習得できる。 ・各編の「問い」である時代の特色を捉えるために、各節の問いが設定されている。その解決に向けて非常にバランスよく資質・能力の育成を図ることができる。 ・SDGs のロゴが記されており、持続可能な社会づくりに向かう社会参画の力の育成を図ることができる。
	(2)	・ページ下に、その章(単元)の課題が記されており、常に単元課題を意識して学習ができるようになっている。 ・ページ下に、小学校で学習した内容や地理や公民で学習する内容が記されており、つながりを意識した学習に効果的である。 ・「平家物語」や「新古今和歌集」など、国語科との関連性をもたせている。
	(3)	・「先人に学ぶ」「地域に学ぶ」コーナーが設けられており、対話の相手を広げられる工夫がされている。 ・「学び合い」の箇所があり、資料から対話的な学習ができる問いがある。
2 第4次岐阜県教育 振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・「見方・考え方」を明記されていることで、個別で追究したり協同で追究したりする指針となっている。 ・「歴史を掘り下げる」「地域に学ぶ」が位置付けられ、地域を視点とした、多様な事例が紹介され当時の様子について深く追究することができる。
	(2)	・章の導入やまとめでは、「知・技」と「思・判・表」を確認する箇所が明確になっており、また明記されているため非常にわかりやすい。 ・二次元コードを読み取ると、ポートフォリオがあるため学びを蓄積していくことができ、評価の手助けとなる。
	(3)	・ムービー、小テスト、巻末年表など、二次元コードを読み取ることによってデジタル版を使用することができる。また、単位時間ごとに二次元コードが示され、ICTコンテンツが充実している。
3 印刷・製本等	(1)	・教科書の厚み、重量ともに適切である。 ・総ページ307 総重量610g
	(2)	・文字間隔、文字の大きさともに見やすいものになっている。 ・必要な部分にはふりがなもふられておりわかりやすい。
	(3)	・穀物の種類、干支、土地制度の移り変わりなど、資料があると理解が深まる部分のコラムが用意されており、使いやすい。 ・冒頭の教科書の使い方の説明が丁寧にされている。 ・国宝、世界遺産マークが明記されており、資料価値の重みを認識させることができる。

意見書

教 科
社会

種 目
歴史的分野

発 行 者
自由社

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 単位時間ごとにチャレンジがあり、共通点や特徴をあげることなどの技能を身に付けることができる。 ・ 章末の時代の特徴を考えるページでは、様々な視点から捉える工夫があるなど、資質・能力を養う手立てが見られる。
	(2)	・ 小学校で学んだ主な人物カードの作成を促し、小学校での学習を振り返ったり単元の導入では、小学校で学んだ人物を中心に紹介したりすることで中学校での学習に生かすことができる。
	(3)	・ 章末の「時代の特徴を考えるページ」や「対話とまとめ図のページ」において、対話活動を位置付け、社会的事象を比較しながら課題解決に取り組むことができる。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 歴史をさらに深く学び考えるためのコラムや外国人から見た日本を取り上げたコラムを活用することで、視野を広げて、考えを深めることができる。
	(2)	・ 単位時間ごとにチャレンジを位置付け、章末では時代の流れの整理や一言作文などを通して、自らの学びを再確認することができる。
	(3)	・ 調べ学習のページがあり、インターネットの活用について掲載し、ICT との関りをもたせることができる。
3 印刷・製本等	(1)	・ 適切なページ数、重量となっている。 ・ 総ページ 3 0 0 総重量 6 0 5 g
	(2)	・ 行間を広く取り、読みづらい漢字にふりがなをふっている。 ・ 写真などの資料が見やすくなるように大きく掲載している。
	(3)	・ 最初に目次があり、巻末に人名や事項の索引を掲載している。 ・ 国宝、世界遺産マークが明記されており、資料価値の重みを認識させることができる。

意見書

教 科
社会

種 目
歴史的分野

発 行 者
育鵬社

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・どの時間でも、「課題」「確認」「探求」という問いが設定されており、学習の流れが統一化されている。 ・章のまとめの学習が工夫されており、既習内容を活用して学びを深めることができる。
	(2)	・ページ下に、年表が記されており、学習している時代をイメージして進めることができる。 ・「節」の課題が、どのページにも明記されており、常に学習課題を意識して学習を進めることができる。
	(3)	・導入資料⇒課題⇒本文や資料⇒確認と探求が設定されており、主体的で対話的な深い学びを促すつくりになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・教科書の冒頭に、「話し合いのポイント」が整理されている。このポイントを押さえておくことで、会話ではなく対話を意識した学習ができるサポートとなる。
	(2)	・章のまとめでは、学習を振り返るページが設定されている。獲得した知識や技能を活用する機会が設けられている。
	(3)	・各章の導入の活動で活用できる、二次元コードが用意されている。
3 印刷・製本等	(1)	・教科書の厚み、重量ともに適切であると考える。 ・総ページ 2 9 2 総重量 5 9 2 g
	(2)	・文字間隔、文字の大きさともに見やすいものになっている。 ・必要な部分にはふりがなもふられ、分かりやすい。
	(3)	・震災の歴史、感染症の歴史など、歴史から学び未来へつなげる学習に活用できるページが設定されている。 ・冒頭の教科書の使い方の説明が丁寧になされている。

意見書

教 科
社会科

種 目
歴史的分野

発 行 者
学び舎

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・その時代の特色を追究するための章のテーマをもとに見通しをもつことや授業の構成を組み立てることを中心にすえ、それが生徒の「学びに向かう力、人間性等」を引き出せる。 ・各単位時間には学習課題が用意されており、追究のための「思考力・判断力・表現力等」につながる。 ・各章をまとめるページでは、身に付けた知識・技能を活用できるようになっており、「知識・技能」の面でも育成できる。
	(2)	・日本の古典の代表である「源氏物語」や「枕草子」という女性作家の作品についてくわしく紹介がなされており、国語科で学習する内容との関連をもたせている。
	(3)	・各見開きの学習内容のタイトルは生徒に興味・関心を抱かせるものとなっており、また多面的・多角的な思考を支える資料によって、主体的、対話的な学習を仕組む授業づくりが期待できる。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024 (R6) 年度～ 2028 (R10) 年度]	(1)	・「学習内容の構造化と焦点化」が重視されており、歴史の具体的場面や時代を生きる人々の姿を通して各時代の特色を捉えるようになっている。 ・諸資料をもとに個別で追究したり、協働学習で追究したりすることに適している。
	(2)	・各章の最後に「時代の特色」をまとめるページがあり、様々な歴史的事象を関連付けたり、意見交流したりできるようになっており、その章で学習してきたことを表にまとめるように構成されている。それを用いて、教師は生徒の思考や理解を評価につなげることができる。
	(3)	・「歴史を体験する」という特設ページでは、インターネットなどの ICT を活用した調べ学習の方法などを学ぶことが期待できる。
3 印刷・製本等	(1)	・手にもちやすいサイズである。 ・総ページ 299 総重量 707 g
	(2)	・読み方が難しい語句の漢字には、ふりがながふられており、読みやすくなっている。
	(3)	・絵、写真、地図などの視覚的な資料や数値を読み取るグラフ資料など多くの資料から学習課題に迫れる内容となっている。

意見書

教 科
社会科

種 目
歴史的分野

発 行 者
令和書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・それぞれの章のまとめでは、「展覧会へ行こう」「新聞にまとめよう」など「学びに向かう力、人間性等」を育成する部分が用意されている。 ・まとめる学習では「知識・技能」の理解を図る穴埋めの問題が用意されている。 ・各単位時間には学習課題が用意されており、追究のための「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる。
	(2)	・文献資料を多く掲載しており、例えば古典「平家物語」の冒頭などが紹介されており、国語科の学習内容との関連をもたせている。
	(3)	・それぞれの学習内容には、学習課題が設定されており、その追求に向けて主体的、対話的な学習を仕組むことが期待できる。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024 (R6) 年度～ 2028 (R10) 年度]	(1)	・学習に関する課題が「イ」「ロ」「ハ」などのまとまりで設定されており、それに対して、個別で追究したり、協働学習で追究したりすることができる。
	(2)	・各章の最後に「時代の特色をとらえよう」というページがあり、その章で学習してきたことを年表や表にまとめるように構成されている。それを用いて、教師は生徒の思考や理解を評価につなげることができる。
	(3)	・「市町村歌を調べよう。」など身近な郷土の歌について発展的な学習を促す部分もあり、それがインターネットなどの ICT を活用した調べ学習につながると感じた。
3 印刷・製本等	(1)	・教科書の厚みはややあるが、サイズは手にもちやすいものとなっている。重量も適切であると考える。 ・総ページ 4 6 3 総重量 5 8 6 g
	(2)	・重要語句は太文字になっており、難しい語句だけでなく、ほぼすべての漢字にふりがながふられており、読みやすい。
	(3)	・正親町天皇や後水尾天皇など他の教科書では扱っていない人物も扱われている。